

# 大泉アイ子さん瑞宝単光章受賞 ～長年の功績認められる～

大泉アイ子さんは、石狩川水系留辺志部川のルベシベ水位流量観測所観測員を35年間務め、その功績が認められ平成18年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章し、去る12月6日、旭川開発建設部長から同章が伝達されました。

大泉さんは、昭和42年12月から平成14年11月まで、ルベシベ水位流量観測所で、観測を続けてこられました。

今では観測は機械化され、データは即時に旭川開発建設部で把握できるようになりましたが、当時は、観測員の力を借りるしか方法はありませんでした。

大泉さんは、雨の日も雪の日も、毎日、休むことなく正確に水位観測を続けてこられ、これらの観測データは、洪水対策など河川事業の貴重な資料となっています。

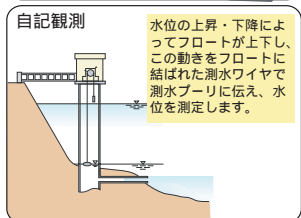
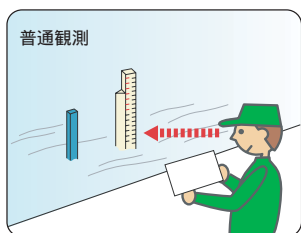
叙勲は、長年に亘って正確な観測業務を行い、河川事業に多大な功績を残されたことが認められたものです。

大泉さんは、「こんなに立派な章をいただけてうれしいです。」と満面の笑みで話してくれました。

長年に亘り、ありがとうございました。



## ワンポイント



### 水位観測

水面の高さを基準面から測ったものを水位といいます。水位は原則として東京湾平均海面(T.P.)を基準として測り、測定単位はmとし、小数点以下2位(cm)まで表記します。

### 水位観測の重要性

水位はその川の流水の量を求める重要な資料であります。近年の産業の発展により電力、かんがい、上水道、工業用水、河川維持用水の水が多量に必要になり、無駄に水を流せなくなってきました。そのため絶えず川の水量を見守っていかなくてはなりません。

また、洪水の時には上流の観測所で測った水位が、下流の水防活動の指令を左右します。水位の観測を誤ると、洪水の予想を誤り、水防活動に重大な支障を招くことにもなります。その時の観測記録は、堤防などの治水計画を立てる重要な資料となります。